



日本百名山 登山日記

歩みを止めなければ、いずれ頂に辿り着く、そんな山日記です



vol.31 北関東～南東北遠征(日本百名山 35～39/100) 赤城山、男体山、安達太良山、磐梯山、蔵王山

2023年のゴールデンウィーク(以下GW)、せっかくの連休だがどこの百名山に登ろうか？
これを検討する際の基準として、以下の4項目を設定しました。

- ① コロナ明けの連休で人出が多いことが予想されるため、飛行機や新幹線を使わなくて済むところ
- ② 車移動では、渋滞に巻き込まれないところ
- ③ 雪の影響が比較的少なく、安全に登れるところ
- ④ 天候変化によるスケジュール変更が容易に出来るところ

当然ながら飛行機や新幹線を使うと宿泊場所が必要になってきます。しかしながら、世間はGW期間中で簡単に望みの宿の確保は難しい、ましてや天候によるスケジュール変更は宿を押さえていると、ほぼ不可能となり、そうなれば時間を大幅に無駄にすることになります。

また、南アルプス方面を目指した場合、大阪、京都、滋賀、名古屋の渋滞は避けられない。標高が高い山は、この時期まだまだ雪が多く天候に恵まれないと登頂は厳しい、遠征している最中の天候変化に対応するには、3,000m級の高峰よりも2,000m程度の低山の方が対応しやすい、また登る山が比較的密集している地域の方が、変更した際の引き出しが多く時間を無駄にしない。

という事で、まだ未踏の山が残る北関東および南東北の山を軸に計画を立てました。



安達太良山の爆裂火口 阿蘇山ほどの規模は無いものの、ここも火星を彷彿させる場所でした

当初は、表題に記した5座の他に、西吾妻山、武尊山、浅間山、乗鞍岳もオプションとして準備していましたが、天候や経路、時間、火山活動の状況などで除外しました。

さて、今回の遠征は6泊7日で計画し、最初と最後の1.5日は移動日に充てます。マイカーで行くとなると、当然ながら車中泊場所や温泉の事前計画は必須であり、山に登るのと同じくらい重要な要素となります。

まず、車中泊場所ですが、どこでも出来るわけではありません。車中泊をされた事のある方ならご存じだと思いますが、特にGW期間中など昨今の車中泊ブームにより、高速道路のサービスエリアや道の駅、キャンプ場など、遅い時間帯に到着すると駐車する場所がまったくありません。

また、登山は朝が早いので登山口までの距離と時間が非常に重要となります。その為、登山口駐車場での車中泊が大前提となるわけですが、北関東はまだしも南東北の標高の高い場所にある登山口駐車場は雪が降ったりしたら、寒さで寝ることが難しいだけでなく、道路に雪が積もった場合には、その場から脱出することさえ困難になります。



男体山山頂の御神剣 男体山は日光二荒山神社の御神体山であるため登山ではなく登拝と言う

また温泉ですが、とにかく登山してすぐに汗を流したいものです。但し、必ず次の山へのルート上に都合良くあるわけでもなく、また旅館やホテルなどの日帰り入浴では、時間的に入浴出来ない場合もあります。今回、旅館の日帰り入浴は2箇所、GW期間中との事で宿泊者優先の為に入ることができませんでした。という事で、狙いは日帰り専門で営業している大衆浴場（温泉）です。

風呂に入ってすっきりしない限り、安眠はできません。連日の登山をする上では、風呂は非常に重要な要素となります。

前置きがかなり長くなりましたが、上記を踏まえた今回のファーストプランは以下のように決定しました（天候により、途中で変更）。

- 1日目 移動日 北陸道経由、新潟県上越市付近の高速SAで車中泊（距離960km）
- 2日目 午前移動 新潟県南魚沼市経由で群馬県桐生市へ（距離170km）
午後 赤城山登山 下山後、栃木県日光市 登山口で車中泊（距離90km）
- 3日目 男体山登山 下山後、東北道 高速SAで車中泊（距離230km）
- 4日目 朝一番移動、蔵王山、屏風岩登山（距離50km）
下山後、福島県耶麻郡猪苗代町道の駅で車中泊（距離140km）
- 5日目 午前 磐梯山登山（距離20km）
午後 安達太良山登山（距離50km）
下山後、西吾妻山登山口スキー場駐車場で車中泊（距離50km）
- 6日目 西吾妻山登山後、新潟県上越市付近の高速SAで車中泊（距離270km）
- 7日目 移動日 中国道経由、山口県自宅着（距離960km）

計画移動距離 合計 2,990km



出典:ヤママップ地図

さて、遠征当日は移動のみなので気楽に出発です。但し、行程を考えて出発は午前3時です。

GWという事で、山陽道は交通量の増加が予想されたため、今回は中国道で兵庫県の吉川JCTを目指しそこから舞鶴若狭自動車道→北陸自動車道のルートを選択しました。

本日は高速道路移動で風呂に入れる場所が限られることから、時間は13時と少し早いですが北陸道を降りずに風呂に入れる唯一の場所、石川県白山市の徳光PAに車を止め、そこに併設されている「松任海浜温泉おつかりさま」で入浴です。

その後、その横にある「ラーメンとんCCZ店」で金沢担々麺を頂きました。ここの担々麺は、なんと第4回 KARA-1グランプリ全国大会で優勝した至極の一杯です（めちゃくちゃ美味しかったです）。



松任海浜温泉おつかりさま



ラーメンとんCCZ店の担々麺

さて、そこからのんびりと冠雪した白山や立山などの北アルプスを眺めながら北陸道を走り、上越市にある名立谷浜SAに到着したのは18時少し前、さっそく車中泊の準備をし、サービスエリアで晩ご飯を食べて爆睡します。

翌朝は午前5時に起床、夜半過ぎからの土砂降りの雨は想定内、午前中には止む予定なので、午後から登山できるよう群馬県の赤城山を目指します。

北陸道の上越ICで降り、南魚沼郡湯沢町を経由し群馬県沼田市に入ります。午前11時過ぎ、予定通り黒檜山登山口駐車場に到着です。この頃になると雨も止んでおり、時折り青空も見えてきました。

日本百名山である赤城山（最高峰 黒檜山（くろびさん）標高は1,827m）は、往復2時間半もあれば登頂し下山まで出来る山です。但し、登山道はかなりの急勾配であるため、お湯を沸かしカップラーメンでエネルギー補給、軽めの装備で一気に山頂を目指します。雨上がりですべる登山道を登る事、約1時間、特に問題なく山頂に到着です。



赤城山（黒檜山の登山口）



火山の山らしい急登が続きます

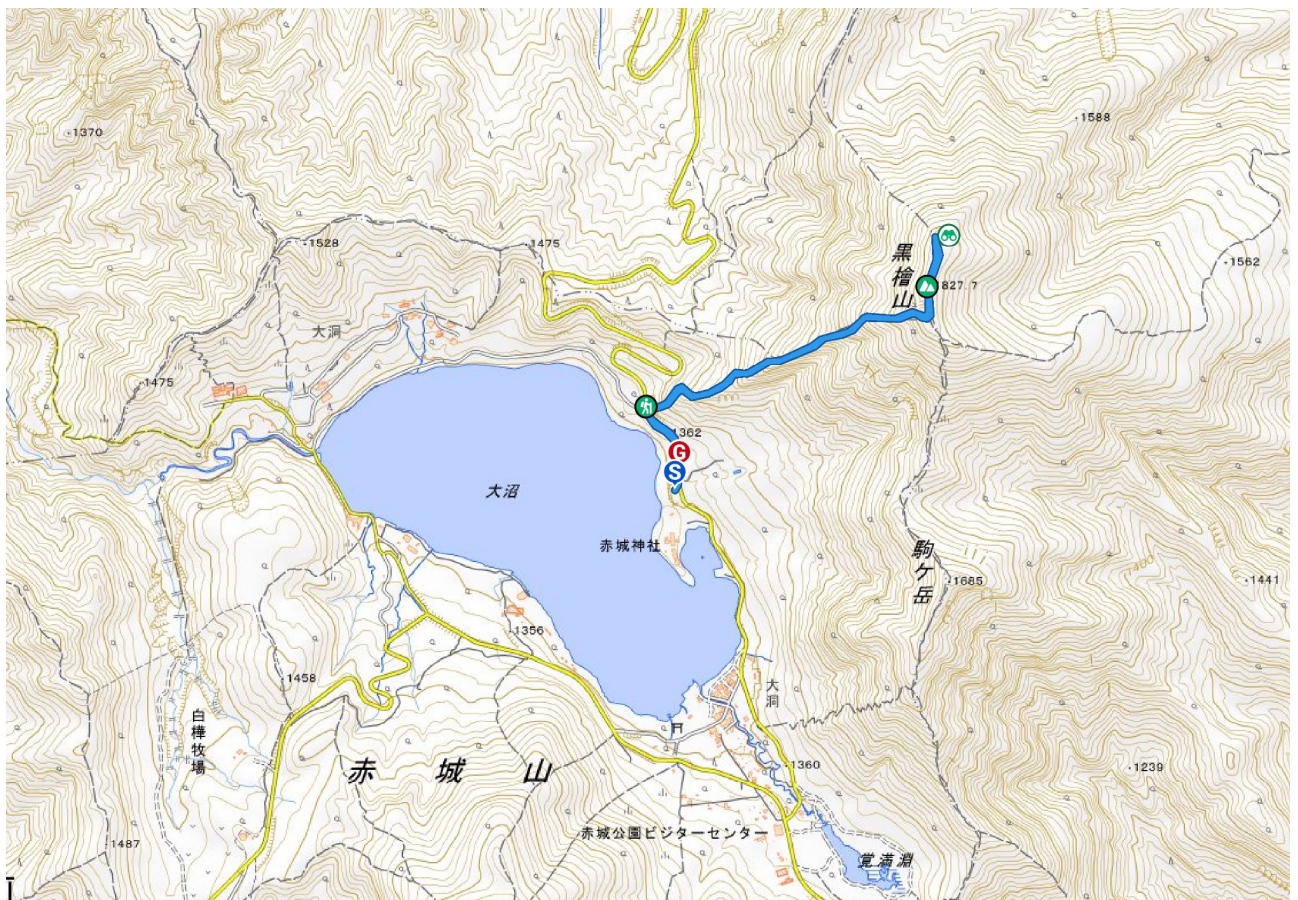


赤城山 山頂



眼下には大沼が見えます

赤城山



登山データ：距離 3.2km 累積標高上り 490m 登山区分 日帰り（ヤマップのデータを転記）

山頂は雨上がりの強風で寒かったため、写真を撮ってそそくさと下山します。

さて、下山後は栃木県の男体山を目指します。

途中、駅舎のホームに温泉がある水沼駅温泉センターに立ち寄り汗を流し、コンビニで晩御飯を購入、登山口駐車場に着いたのは17時半、のんびり神社や中禅寺湖の周りを散策、晩御飯を食べ車中泊し夜を明かしました。

さて、日本百名山の男体山（標高2,848m）ですが、実は日光二荒山神社の御神体山であり山全体が境内地なので登拝（登山とは言わないらしい）期間や時間が決まっており、例年4月25日から11月11日まで登拝することができ、また時間は午前6時からとなります。と言う訳で、この日は早起きする必要もなく、ぐっすりと寝ることが出来ました。

翌日は朝5時に起床、開門と同時に登山者が多いことが予想されたことから、気持ち遅目に神社の登山者登拝の受付に行きました。

登拝料1,000円を納めお守りを受け取ったら、いざ登拝開始となります。独立峰であるため、徐々に勾配はきつくなり、中盤以降は火山の岩場歩きの急登、ただし、距離が比較的小さいため問題なく山頂に立つことが出来ました。山頂からの景色は絶景で、中禅寺湖や日光白根山、冠雪した尾瀬方面の山々など目を存分に楽しませてくれました。



見るからに急登の男体山



受け付けを済ませ、いよいよスタートです

男体山



登山データ：距離 7.9km 累積標高上り 1,216m 登山区分 日帰り（ヤマップのデータを転記）



中腹からはゴロゴロ石が続きます



男体山 山頂 二荒山神社 上宮



二荒山大神 御神像



日光白根山と戦場ヶ原



中禅寺湖



冠雪した尾瀬方面の山々

下山後は、温泉に入り一路、宮城県を目指す予定でしたが、最新の天気予報をチェックすると、暴風予報、また蔵王山では降雪の可能性もあったため、急遽、予定を変更、先に福島県の三座に登る事にしました（結局、蔵王のエコーラインは、降雪の為、通行止めとなり判断は正解でした）。但し、この降雪が、後に私を苦しめることになるとは、この時は思ってもいませんでした。さて、宮城県へ移動する事を考えれば移動距離は少なくなり、また栃木県北部は過去に住んでいたこともあり、地理的に明るいので気楽に移動できました。

（ちなみに先に蔵王に行こうとした理由は、5/2は平日で人が少しでも少ないと思ったからです。）本日の寝床ですが、当初は磐梯山の八方台登山口を予定していましたが、天候が荒れており、万が一を考え、山奥である駐車場よりも、比較的街に近く安全が確保できそうな安達太良山の登山口で車中

泊をしようと考えました。しかしながら、駐車場に着いた時には車がグラグラ揺れ、ドアを開けることも困難なくらいの暴風雨、とてもじゃないがここで寝る勇気はありません。

また、天気予報を見ると朝一からの登山はリスクが高いほどの悪天候となっていたため、ここは戦略的撤退、麓の道の駅 安達に移動し車中泊する事にしました。と同時に、磐梯山（標高1,816m）と安達太良山（標高1,700m）の1日2座を予定していましたが、安全を期して1日1座に変更、スケジュールを練り直し、西吾妻山（標高2,035m）を諦めることにしました。

さて、翌朝はのんびり6時に起床、風は多少は落ちているようですが、天気予報を見ると…あまり芳しくない。とりあえず登山口まで行き、状況を確認する事にしました。

登山口には既に30台以上の登山者の車が駐車、既にスタートしている人もいました。また、安達太良山には登山用のリフトがあるのですが、そのリフトが強風で動いていなかったため、帰る人も少なからずいました。まあ、私は当初からリフトを使う予定がなかったので、問題ありません。

という事で、今日は時間的に余裕がある事から、お湯を沸かし、天候の回復を待ちながら、のんびり朝食にします。



スキー場用の駐車場なのでめちゃくちゃ広い



登山口 奥にはゲレンデ

風もやや収まり、また日差しも出てきた9時11分、登山口をスタート、安達太良山は初心者向けの山なので特に問題ないと考えていましたが、下山してくる人に話を聞くと、頂上はガスガスの暴風で雪も降っていたそうです。しかも、登山道には残雪も多く残っている箇所があるらしい。

まあ、その辺りは織り込み済みなので、特に気にせずに歩きます。しかしながら山頂付近の稜線ではとんでもない暴風で、耐風姿勢をとっても身体が浮き上がり持って行かれるような風、そして顔面に突き刺さるように飛んでくる霧氷に苦しみながらも、無事に登頂することができました。



登り始めの頃、山頂方面はまだガスに覆われている



ラッキーな事に青空が広がってきた



山頂まではあとわずかだが、猛烈な風に苦しむ



この霧氷が顔面を襲ってくる



風景はまさに活火山



安達太良山 山頂



登山データ：距離 10.8km 累積標高上り 785m 登山区分 日帰り（ヤマップのデータを転記）

今回の登山は、天気予報とにらめっこ、出発を遅くしたことが功を奏し、上空は素晴らしい青空、暴風ではあったものの美しい安達太良山を堪能することが出来ました。

下山後は登山口にある温泉に入り磐梯山方面へ移動。猪苗代町で喜多方ラーメンを食して、道の駅猪苗代で車中泊します。

翌朝、本日の登山も一座だけなので、ゆっくり起床。6時過ぎに磐梯山八方台登山口に向かいます。この選択がギリギリで、駐車場に着いた時にはほぼ満車、数台しか駐車する場所がなく、ここにとめられなければ数百メートル離れた場所に駐車しなければならない所でした。



猪苗代町から見る磐梯山



GWということもあり駐車場は満車

登山口駐車場でゆっくりと朝食を摂り7時33分、登山をスタートします。

登山口から少し進むと、登山道は雪に覆われていましたが特に問題もなく、山頂直下の急登では積雪により登山者の渋滞が起きたものの、無事に山頂に立つことが出来ました。

山頂からは南に猪苗代湖、北に檜原湖、そして今後、日本百名山を登っていく上で大きな難所の一つになるであろう飯豊山や朝日連峰が雪化粧して美しく佇んでいます。



登山口横の熊注意の看板、リアルで怖すぎる



一般的な熊注意の看板はこれ（同じ登山口にあり）



スタートしてすぐに残雪の登山道です



山頂直下の山小屋から、山頂までもう少し



磐梯山 山頂



こかも火山の山



北側には檜原湖と朝日連峰方面



南側は猪苗代湖



登山データ：距離 7.3km 累積標高上り 729m 登山区分 日帰り（ヤマップのデータを転記）

さて、下山後はいよいよ最終登山をする蔵王山と宮城県最高峰の屏風岩です。

温泉に入りコインランドリーで洗濯、蔵王山に登るエコーラインの通行開始（ゲート開放）が8時からなので近場の道の駅 村田で車中泊します。

さて、翌朝はゲート前で渋滞する事はリサーチしていていたので、開門の1時間半前に到着、運よく前から二番目となりました。

このゲートの並んだ人たちのほとんどは、エコーラインの上の有料道路（蔵王ハイライン）を目指します（ここを通ると山頂までかなり時間短縮できる）。私は、蔵王山の後に屏風岩に登る事から、蔵王山と屏風岳の間にある路肩駐車場に車を止めました。

まずは蔵王山を目指します。料金所で大渋滞の車列を見ながら、九十九折れの道路をぶった切るように直登で登っていきます。

私以外に歩いている人間は誰もいないため、目立つこと目立つこと、渋滞中の車から好奇の目そして憐みの目（有料道路代金が払えない人）を向けられます。まあ、ほとんどが観光客で屏風岩のことなんてこれっぽっちも知らないであろう人たちなので、まったく気になりません。



ゲートが開くまでボツと過ごします



ゲート前から振り返ると大渋滞



路肩駐車場にとめていよいよ登山スタート



まずはサクッと刈田岳の山頂

さて、まず一つ目のピークである刈田岳に着いた時に啞然、有料道路から上がって来た人が溢れんばかりで、なんじゃこりゃー状況でした（有料道路の最上段の駐車場から10分）。

そしてそこからは、ほぼハイキングコースとなる蔵王山の山頂に向かいます。周囲には人がたくさんいましたが、ガチの登山者は1割もいません。ほとんどが軽装の観光客です。

緩やかな登山道と雪渓をクリアすると蔵王山の山頂に問題なく到着しました。山頂からは、磐梯山からも見た豪雪の山である飯豊山、そして朝日岳、また西吾妻山などが見えます。

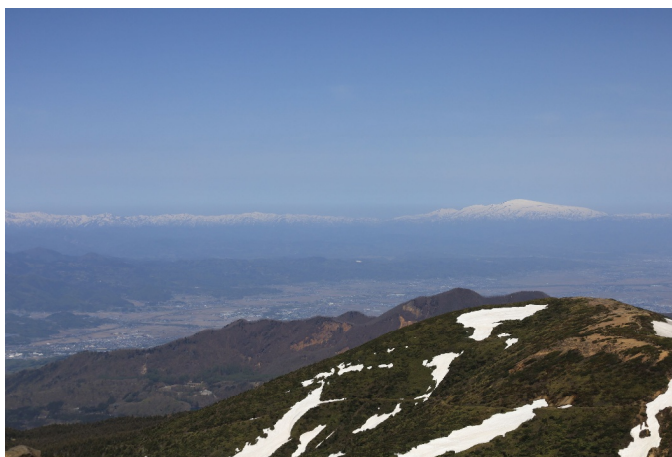
労せずにこんな美しい風景が見れることから、蔵王山はコストパフォーマンスは最強だと思います。



なんともなだらかな山です



蔵王山（熊野岳）山頂



飯豊連峰方面



朝日連峰が美しい

さて、ここからはダッシュです。実は、エコーラインは17時までにゲートを出なければ閉じ込められてしまいます（GW明けからは24h開放）。コースタイム的には屏風岳まで登っても十分に下山出来るのですが問題は雪でした。

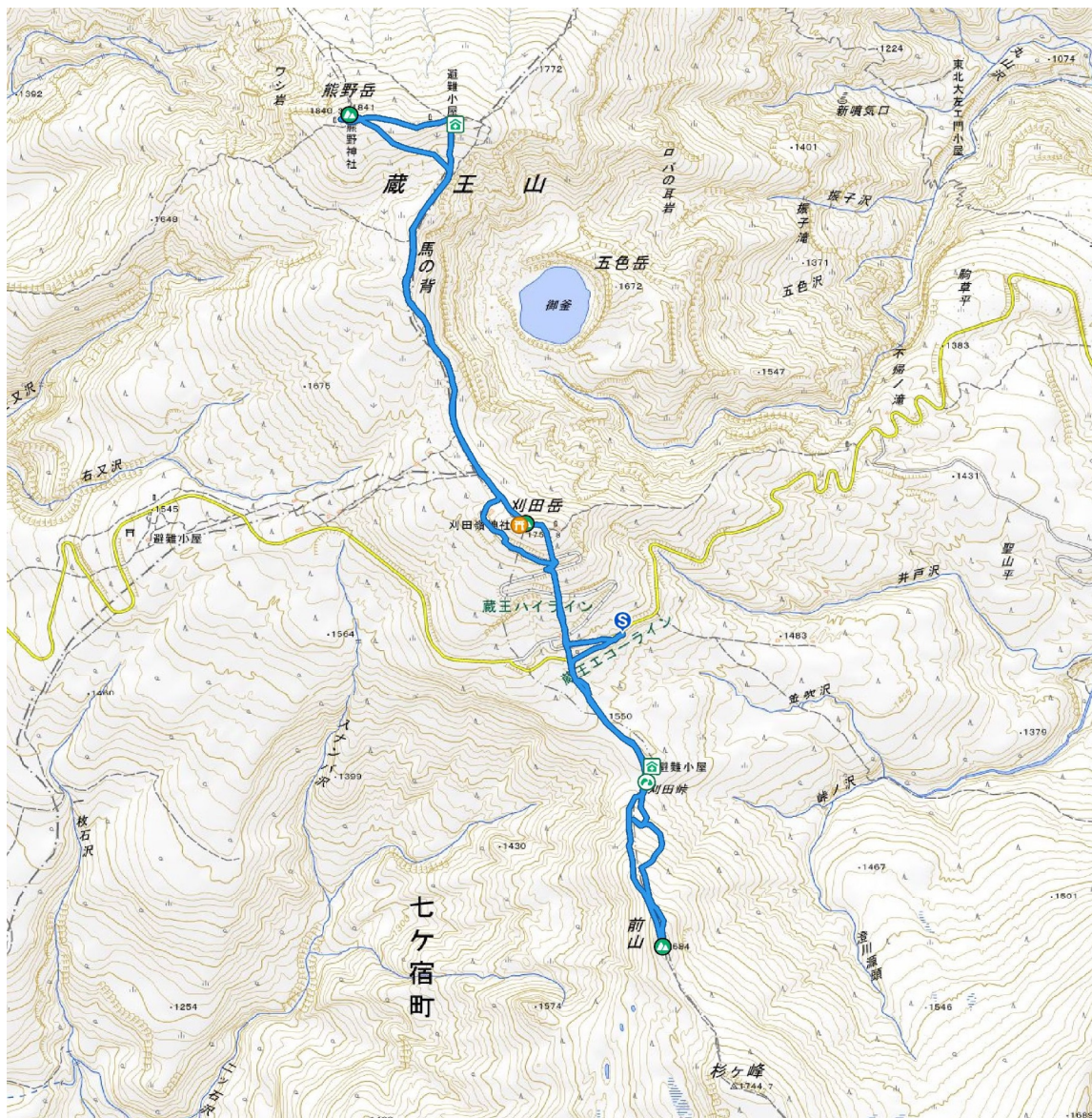
結果から言うと、前々日の雪で登山者のトレースは完全に消え、また当日も登山者がいなかった事、雪でルートをロストしたこと、事前情報を見る限りピッケルは必要ないと準備しておらず雪の急斜面を12本爪アイゼンとストックのみで登る必要があった事などから、時間的にも厳しいと考え、途中のピークで登頂を断念しました（行けないことはなかったでしょうが安全第一です）。



晴天で気持ち良いが…時間制限が…



もう少しゲートが早く開いてくれれば



登山データ：距離 9.8km 累積標高上り 542m 登山区分 日帰り（ヤママップのデータを転記）

まあ、福島的一座（西吾妻山）も日程的に中止したことから、楽しみが増えたと思って、またこの二座はまとめて登りたいと思います。

という事で、時間に追われることもなくなった事から、雪を楽しみながらのんびり下山しました。

さて、今回は登山最終日であったので下山後は山口県に帰ります。ここから自宅までの距離は、およそ1,300km、16時間の行程です。

途中、山形県南陽市の赤湯温泉で日帰り温泉を楽しみ、新潟県の胎内市の定食屋で夕食、そこからは高速道路に乗りSAで車中泊、翌日の午後、無事に自宅に帰りました。

今回の登山は、冒頭にも記したようにすべて車中泊にて行動しました。致し方ない事ですが、やはり疲れをとるためには3日に1日ぐらいはゆっくりベッドで寝たいというのが正直なところです。

車中泊に関しては新たな課題も見つかったので、次回からはもっと快適に寝られよう改善を施したいと考えています。

また、登山自体は比較的登りやすい山を中心としたことから、最終日の撤退以外は特に問題が無く、良かったと思っています。

※ 最終行程は以下の通り。

- 1日目 移動日 北陸道経由、新潟県上越市SAで車中泊（距離960km）
- 2日目 午前 新潟県南魚沼市経由で群馬県へ（距離170km）
午後 赤城山登山 下山後、栃木県日光市 登山口で車中泊（距離90km）
- 3日目 男体山登山 下山後、東北道で福島県二本松市
悪天候で登山口駐車場での車中泊を断念、道の駅 安達で車中泊（距離210km）
- 4日目 安達太良山登山（距離20km）
下山後、福島県耶麻郡猪苗代町 道の駅猪苗代で車中泊（距離40km）
- 5日目 磐梯山登山（距離20km）
下山後、東北道で宮城県柴田郡村田町 道の駅 村田で車中泊（距離120km）
- 6日目 蔵王エコーライン8時開門 蔵王山登山、屏風岳撤退（距離30km）
下山後、山形県南陽市から飯豊町を経由して、新潟県胎内市
北陸道、新潟県三条市高速SAで車中泊（距離220km）
- 7日目 北陸道→舞鶴若狭自動車道→中国道にて帰宅（距離1,050km）

実施移動距離 合計 2,930km